

# 第3回定例会自民党代表質問

## 東京2020大会に向けて

東京2020大会に向けて、渋谷区独自の猛暑対策やQRコードによる公共サインの多言語対応、トイレ協力店へのマークの設置、バリアフリー対応の充実等、渋谷の魅力の更なる創造と発信を提案しました。また、大会の成功に向けて情報の収集・共有・提供を行う組織横断的な対策本部の設置を強く要望しました。



## ササハタハツと緑道整備

笹塚・幡ヶ谷・初台地区(=ササハタハツ)の「共創のまちづくり」の中で、商店街活性化のため地域経済振興の取り組みを行うよう要望しました。また、玉川上水旧水道緑道を他の遊歩道と繋ぎ、休憩所やトイレを整備し、インクルーシブな遊具や区民農園のスペースを設ける等、区民にも来街者にも愛される回遊型のヘルシーロードとして整備するよう提案しました。

※1 インクルーシブな遊具=障害のある子どもない子どもと一緒に安全に遊べる遊具

## 避難所運営の組織化について

大地震や水害等の災害の発生に備え、災害時要配慮者参加の避難訓練等多様で実践的な訓練の実施、避難所運営委員会の組織化や自主的な活動に対し、財政面を含めた支援を行うよう強く要望しました。また近隣区等とのシティネットワークの構築を進め、災害対応のみならず児童虐待防止にも繋がる情報共有体制の推進を提案しました。



## CSVの推進と経済活性化について

イノベーションの担い手となる革新的な企業の成長を加速させる<sup>※2</sup>スタートアップ・エコシステム拠点都市としての都市整備をすすめ、グローバル拠点として国から選定されるための環境整備推進を提言しました。また、CSV(Creating Shared Value: 共有価値の創出)の意識醸成を図り、産官学民協働によるスマートシティの実現を強く要望しました。

※2 スタートアップ・エコシステム=創業してから間もない革新性のある企業を成長させ、事業を加速する仕組みの総称

## 多世代共生型のまちづくり

代々木二・三丁目の国有地の取得を早期に進め、福祉の総合施設として整備を進めるとともに、当該エリアに災害対策要員や災害時対応介護要員、地域活動に貢献する若者の優先的入居を行うことで、危機管理対策や地域活性化、介護人材の待遇改善といった多世代共生型の先進的な街づくりを提案しました。

## 専門人材の活用・連携の推進

人生100歳時代を見据え、歯科衛生士や歯科技工士、専門看護師といった専門人材の積極的な登用と連携による地域包括ケアシステムの深化・推進を要望しました。

## 教育の更なる充実に向けて

幼児教育の質の向上と保育環境整備のため、発達障害の専門家の常駐化や巡回頻度の強化を提言しました。また、教育現場におけるICT教育やプログラミング教育をより魅力的なものにするための環境整備を提言するとともに、オリ・パラ教育やシティプライド醸成といった教育の推進、いじめ防止対策の更なる充実を要望しました。

**木村**  
まさよし  
渋谷区本町  
4-44-1

**斎藤**  
竜一  
渋谷区代々木  
1-30-3

**下嶋**  
みちお  
渋谷区笹塚  
2-44-4

**一柳**  
なおひる  
渋谷区代々木  
5-34-22-411

**丸山**  
たかし  
渋谷区本町2-7-12  
マルメゾン5J

**斉藤**  
たかゆき  
渋谷区道玄坂  
2-18-11-103

**中村**  
たけし  
渋谷区東  
2-21-9-1002

**岡**  
みちる  
渋谷区西原  
1-12-5

**松本**  
翔しょう  
渋谷区富ヶ谷  
1-52-2

渋谷区議会  
自由民主党  
議員団  
渋谷区宇田川町1-1  
(議員団控室)

ご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。  
TEL.3463-1034 FAX.5458-4960